

講演会開催 趣意書

1. 趣旨・目的

臨床工学技士を取り巻く環境は、医療技術の高度化、医療DXの進展、業務領域の拡大などにより、大きな転換期を迎えています。一方で、臨床工学技士制度がどのような背景のもとに誕生し、どのような現場課題や先人たちの思いによって築かれてきたのかを、当事者の言葉として直接学ぶ機会は年々少なくなっています。

また、働き方改革や医療提供体制の変化が進む現在においてこそ、臨床工学技士という職業が、どのような理念と使命のもとに成立し、発展してきたのかを理解することは、職業的意義や専門性を再確認する上で極めて重要であると考えます。

本講演会は、日本臨床工学技士会 名誉会長 川崎忠行先生を講師にお迎えし、臨床工学技士資格創設に至るまでの経緯や当時の医療現場の実情、制度黎明期に直面した課題と取り組み、ならびに長年のご経験に基づく知見と、これからの臨床工学技士・次世代の技士へ向けたメッセージについてご講演いただくことを目的としております。

川崎名誉会長ご自身の実体験に基づくお話は、現在臨床の第一線で活躍する臨床工学技士のみならず、若手・中堅技士や学生にとっても、自らの職業の原点を知り、誇りと使命感を再認識する貴重な機会となるものと考えております。

本講演会では、こうした学びの機会を地域差なく提供するため、全国の臨床工学技士を対象としたオンライン配信として開催いたします。

2. 講演会概要

- **講演名**：礎 — 臨床工学技士の原点と未来をつなぐ —
- **講師**：川崎 忠行 先生（日本臨床工学技士会 名誉会長）
- **開催期間**：2026年5月18日より約1か月間（予定）
- **開催形式**：オンライン配信（事前収録・期間限定配信）
- **対象**：臨床工学技士（若手～中堅を主対象とし、世代を問わず参加可能）
- **参加費**：無料

3. 講演内容（予定）

- 臨床工学技士制度誕生の背景と資格創設に至る経緯
- 制度黎明期の医療現場と技術革新の実際
- 医師・看護師・医療機器メーカー等との関係性と役割の変遷
- 技術職として大切にしてきた考え方と姿勢
- これからの臨床工学技士に求められる役割と展望
- 次世代の臨床工学技士へのメッセージ

4. 運営体制

- 主催：株式会社オルカテック
- 企画責任者：来田 知也（株式会社オルカテック 代表取締役社長）
- 企画統括：石井 道隆（臨床工学技士）

5. 非営利性

本講演会は、臨床工学技士の知識向上および職域発展への寄与を目的としたものであり、営利を主目的とするものではありません。また、本講演会においては参加費を設定せず、無料にて実施いたします。

6. 後援のお願い

本講演会の趣旨にご賛同いただき、臨床工学技士の学術的・職能的発展を支援する立場から、貴会に後援をご検討いただけましたら幸いです。

後援を賜りました際には、告知物・当日資料等において、貴会名を後援団体として明記させていただきます。

7. 問い合わせ先

本企画の内容、および後援に関するお手続きは下記までお願い申し上げます。

【企画内容・主旨に関するお問い合わせ】

企画統括：石井 道隆（臨床工学技士） メールアドレス：michi.1126me@gmail.com

【運営・事務局に関するお問い合わせ】

主催：株式会社オルカテック メールアドレス：contact@olcatec.jp